Housetec
Living with ideas

保証書付

ミニキッチンユニット

MINI KITCHEN

取扱説明書　KM - 7型

●このたびはミニキッチンユニットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
●お求めのミニキッチンユニットを正しく使っていただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
●お読みになったあとは、いつでも使える場所へ大切に保存してください。
●この取扱説明書の巻末は、保証書になっています。
保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

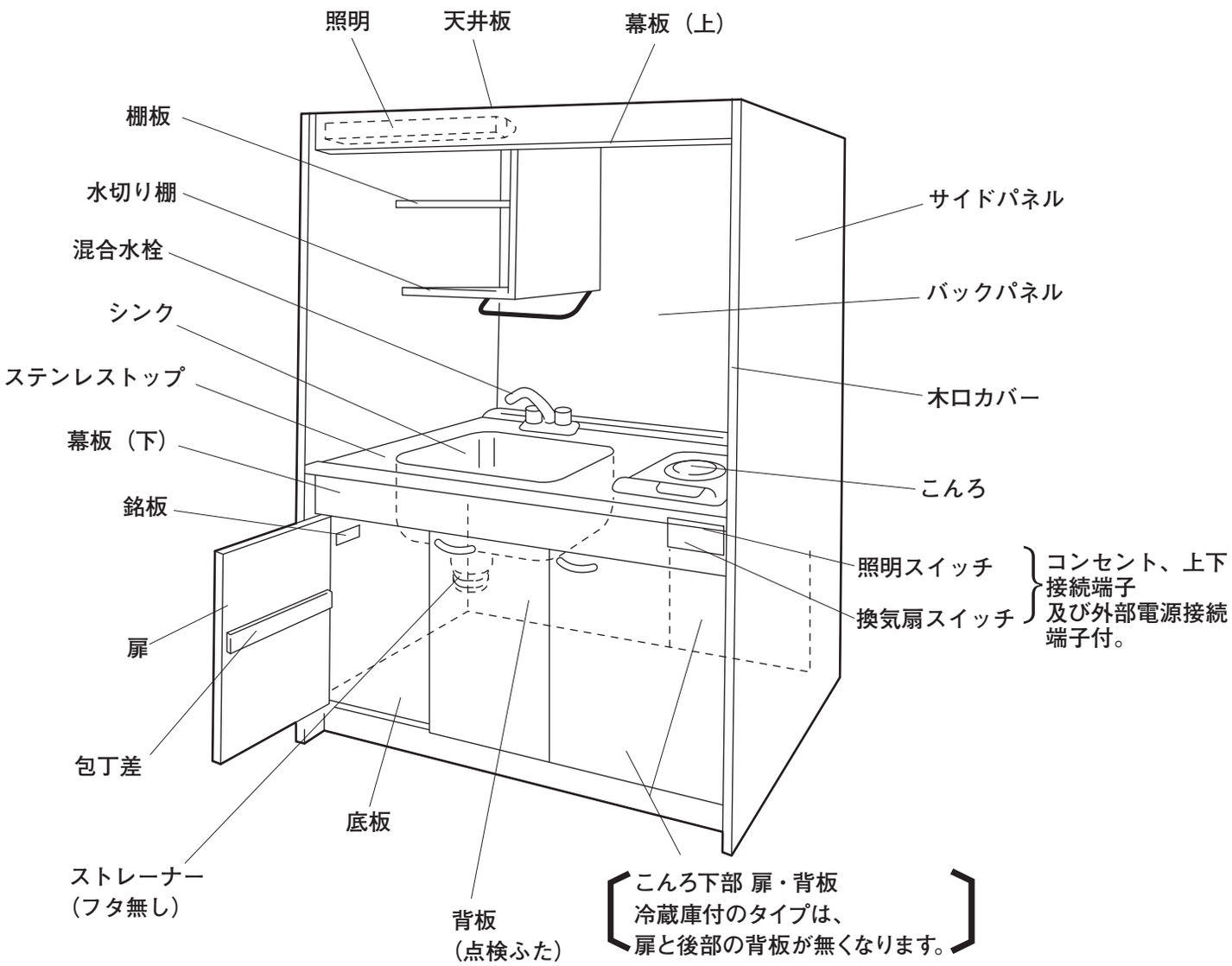
もくじ

●部位と名称 1
●安全上のご注意 2
●各部の使用方法
　組込機器 7
　混合水栓 7
　排水装置 7
　照明器具 7
　扉の調整 8
　水切棚 9
●お手入れ方法
　組込機器 10
　混合水栓 10
　排水装置 10
　天板・水そう 10
　水切棚 11
　木部・パネル 11
●仕様 11
●故障・異常の見分け方 12
●保証・点検・修理のご案内 12
●お問い合わせ窓口 13
●保証書 13

部位と名称

各部名称

■　ミニキッチンユニット本体（本図は、KM-1207SEL を示しています。）



安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。
  安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 警告　この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。

⚠ 注意　この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例

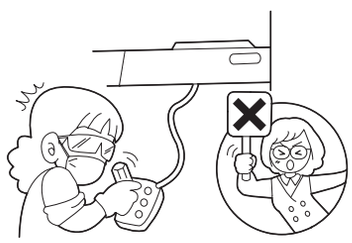
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解や修理・改造の禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はアースを確実に取り付けてください）が描かれています。

⚠ 警　告

修理技術者以外の方は、ミニキッチンユニット本体および組込機器の修理・改造を行わない。
発火したり異常動作をしてけがをすることがあります。



ミニキッチンユニット内のコンセントに組込以外の機器を接続しない。
他の機器を接続するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。

ミニキッチンユニット本体および組込み機器のアースを確実に取り付け専用の漏電遮断器を設置する。
故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
アースの取り付けは、販売店にご依頼ください。
ガス管への接続は、絶対にしないでください。

ミニキッチンユニット本体および組込み機器を水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電の恐れがあります。

安全上のご注意（続き）

⚠ 警　告

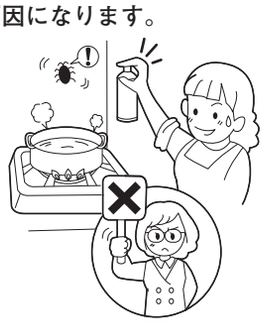
こんろの上やまわりには、燃えるものを絶対に置かない。
周囲の物が燃え、火災発生の原因になります。

組込以外のこんろを使用しない。
火災や感電の原因になります。

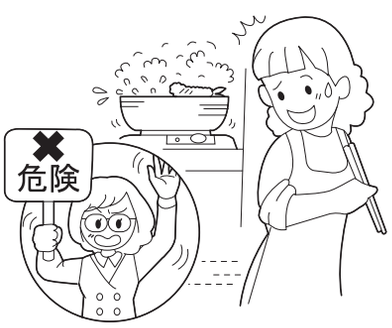
こんろを調理以外の用途に使用しない。
火災ややけどの原因になります。

補助具はこんろの付属品、あるいは指定のもの以外は使用しない。
こんろを覆ってしまうような大きな鉄板、陶板類や補助具などは使用しないでください。
不完全燃焼や異常過熱による器具の焼損や火災、やけどなどの危険があります。

調理中は調理機器の近くで引火しやすいものを使用しない。
（揮発しやすい液体、各種スプレーなど）
火災ややけどなどの原因になります。

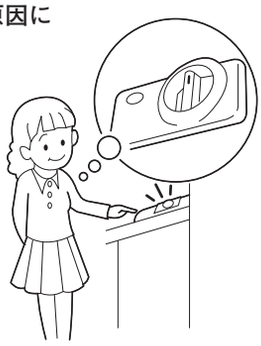


調理中はその場をはなれない。
過熱により、火災の原因になります。



天ぷら調理は火力調整に充分注意し、調理後はこんろにのせたまま放置しない。
天ぷら調理は加熱しすぎますと発火することがあり、火災の原因になります。

使用後やお出かけの時は、電気こんろのスイッチが「切」になっていること確かめる。
過熱により、火災の原因になります。



安全上のご注意（続き）

⚠ 警　告

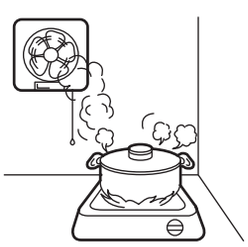
子供だけで使わせない。
やけど、感電、けがをするおそれがあります。

組込機器の電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない。
感電をすることがあります。

お手入れの際は、ブレーカーでミニキッチンの電源を切って行う。
感電ややけどをするおそれがあります。

組込機器の電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭きとる。
火災の原因になります。

ガスこんろの使用中は必ず換気扇を回すなど十分な換気を行う。
しめきった部屋で調理機器を長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。
窓や、ドアを閉めきった状態で換気扇を使用しますと、換気機能は正常に働らかず新鮮な空気の補給ができません。必ず換気用マド、または、他の換気扇で給気を行ってください。



ガスこんろは使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。
使用後は器具栓を閉じて消火を確かめる。
ガス洩れに気づいたときはすぐに使用をやめて器具栓を閉じ、窓や戸を開けガスを外へ出してから販売店かガス供給業者に連絡してください。
万一ガスが洩れたときは、すべての処置が終るまでの間、絶対に火をつけたり電気器具・換気扇その他のスイッチ操作や電源プラグの抜き差しなどをしないでください。

安全上のご注意（続き）

⚠ 注　意

交流 100V 以外では、使用しない。
火災・感電の原因となります。

※ 200V の電気コンロの場合は、200V の電源と 100V の電源の 2 つの電源になります。

ミニキッチンユニットに組込みの電気機器が動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源スイッチを切って、お買い求めの販売店に、必ず点検・修理を依頼する。
感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。

ミニキッチンユニットに組み込まれている機器については、それぞれの商品に添付されている、取扱説明書及び、本体の注意表示を必ず読む。
使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。

台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器等に表示されている、注意事項を必ず読む。
使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、ミニキッチンユニット本体や機具類がいたみ、水もれ事故や、故障の原因になることがあります。

水栓を開けて、水を出したままミニキッチンユニットから離れない。
水槽から水があふれてしまう危険があります。

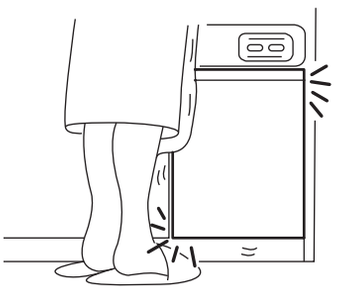
長期間使用しないときは、ミニキッチンユニットの電源をブレーカーで切るか、組込機器の電源プラグをコンセントから必ず抜く。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は使ったり、近付けない。
水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に充分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでご使用ください。

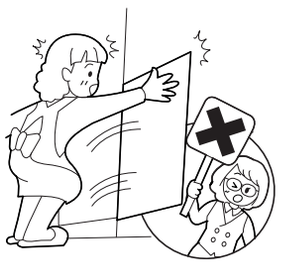
安全上のご注意（続き）

⚠ 注　意

扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のネジをしめなおす。
扉が落ちて、けがをするおそれがあります。



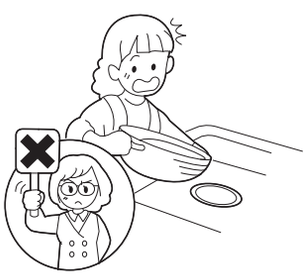
扉や、取っ手にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎない。
扉や、取っ手がはずれて、けがをするおそれがあります。



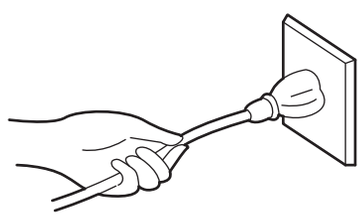
使用中や使用直後は、こんろおよびその近くの金属部にさわらない。
高温のため、やけどの原因になります。

混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出す。
水栓及び熱湯で、ヤケドをするおそれがあります。
特に、小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。

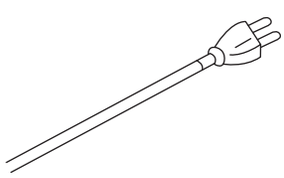
熱湯や、てんぷら油、薬品を直接排水口に流さない。
排水装置が変形したり、排水パイプに穴があいて、水もれの原因になります。



組込み機器の電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。
感電やショートして発火することがあります。



ミニキッチンユニット本体および組込み機器の電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因になります。



ミニキッチンユニット本体および組込機器の電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしない。
また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

ご使用方法

1 組込機器 (こんろ・冷蔵庫)

各組込機器についています「取扱い説明書」をお読みください。

2 混合水栓

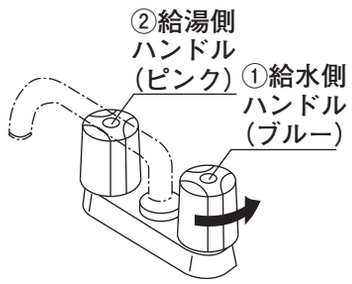
① 給水側ハンドル（ブルー）をまわし②給湯側ハンドル（ピンク）を適度にあけ、
お湯の温度を確認しながら調節し、適温にしてください。

⚠ 注 意

混合水栓を使用するときは、必ず水を先に出す。
(電気温水器でご使用の際は、給水側ハンドルを開けると使い始めに、あたたかいお湯が出る場合がありますが異常ではありません。)

水栓及び熱湯で、ヤケドをする恐れがあります。
特に、小さいお子様のいるご家庭ではご注意下さい。

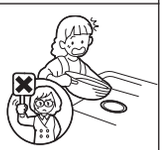
各部の名称



3 排水装置

⚠ 注 意

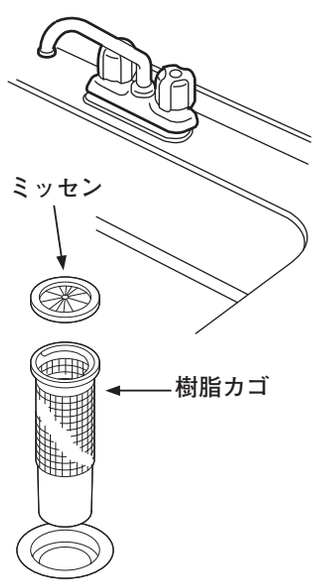
熱湯やてんぷら油薬品を直接排水口に流さない。
排水装置が変形したり、排水パイプに穴があいて、水もれの原因になります。



水栓を開けて水を出したままにしない。
水槽から水があふれてしまう危険が有ります。

樹脂カゴをはずしてゴミ等を直接流さない。
配水管が詰まる原因になります。

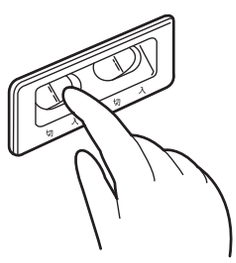
各部の名称



4 照明器具

■点・滅方法
幕板（下）の照明スイッチで点・滅を行います。

■蛍光管の取りかえ
市販の 10W 蛍光管と交換してください。



⚠ 注 意

●定格以外の蛍光灯を使用しない。
異常加熱により蛍光灯が割れたり火災発生の原因になります。

●スイッチや蛍光灯に水をかけない。
蛍光灯が割れたり、漏電や感電の危険があります。

●濡れた布を蛍光灯に掛けたり、濡れた手でスイッチや蛍光灯に触らない。
蛍光灯が割れたり、漏電や感電の危険があります。

ご使用方法（続き）

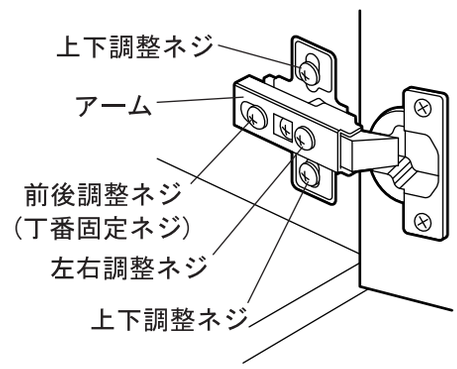
5 扉の調整

●扉の調整は丁番で行うことができます。
調整する際は、プラスドライバーを使用して以下の要領で行ってください。

⚠ 注 意

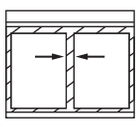
●ゆるめた調整ネジは、調整後にしっかり締め付ける。
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

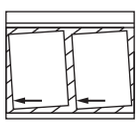
各部の名称

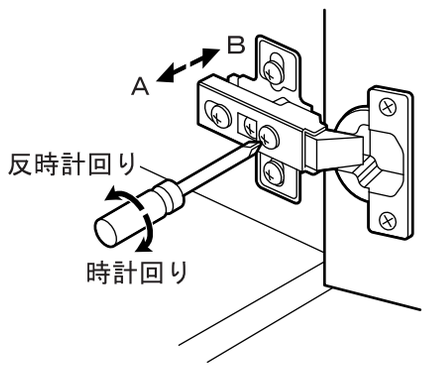


左右・傾きの調整をする場合

左右調整ネジを回すだけで調整が行えます。
左右調整ネジを時計回りに回すと扉がB方向に動き、反時計回りに回すと扉がA方向に動きます。

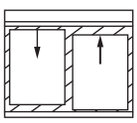


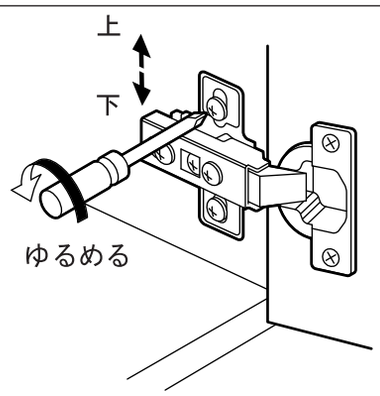




上下の調整をする場合

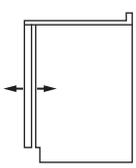
２ヶ所の上下調整ネジをゆるめます。
扉を上下に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。

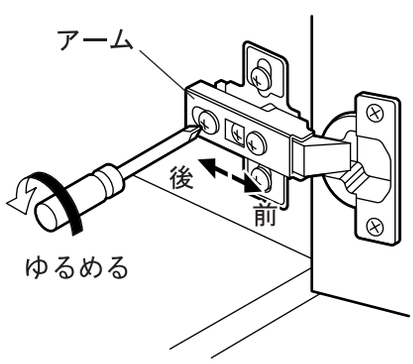




前後の調整をする場合

前後調整ネジをゆるめます。
アームを前後に動かして、扉の調整をします。
調整後はネジをしっかり締め付けてください。



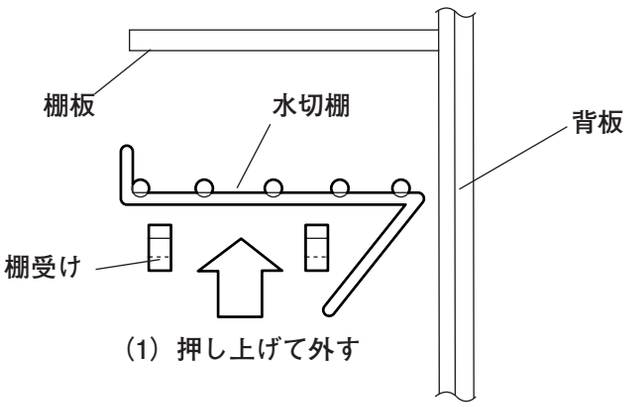


ご使用方法（続き）

6 水切棚

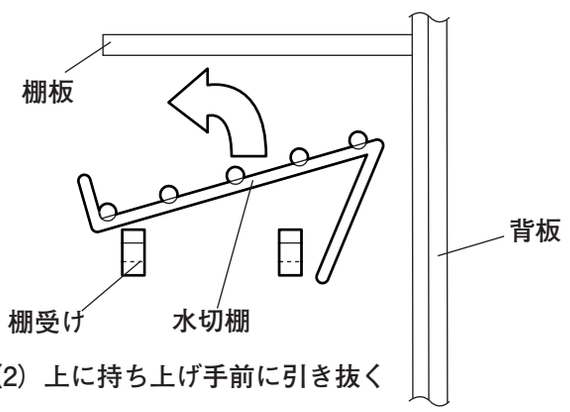
●取外し方法

①水切棚を下から手で押し上げ棚受けから外す。



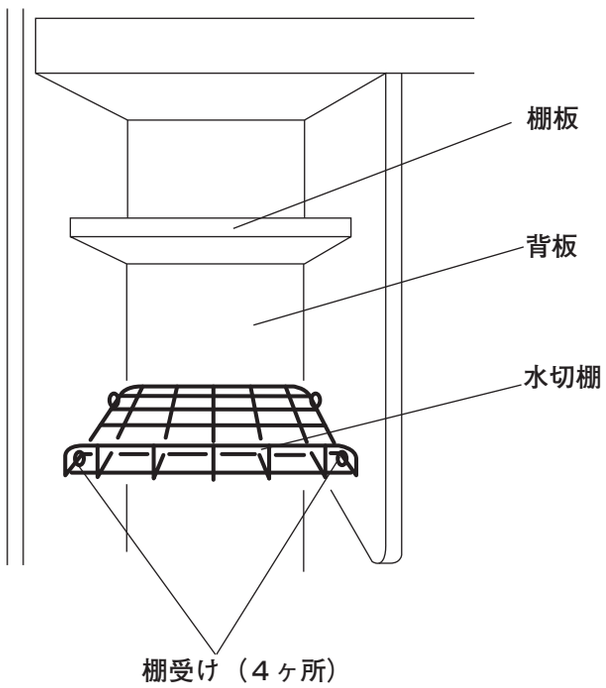
(1) 押し上げて外す

②水切棚を持ち上げた後手前に引き抜く。



(2) 上に持ち上げ手前に引き抜く

各部の名称



●取付け方法

取り外しの逆の順序で行ってください。

7 棚板・シンク下収納部

●水をよく拭きとった食器類を収納してください。

（洗った後の食器類は、いったん棚板下の水切棚でよく水切りをした後、棚板へ収納してください。）

お手入れ方法

汚れはお手入れが早いほど簡単に落ちます。
こまめなお手入れがきれいにお使いいただけるひけつです。

1 組込機器（こんろ・冷蔵庫）

各組込機器についています「取扱い説明書」をお読みください。

2 混合水栓

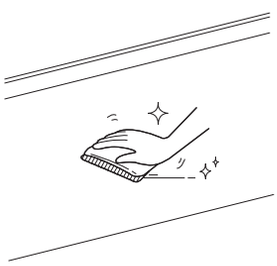
■毎日水洗いした後、乾いた柔らかい布で水分を軽く拭き取ってください。
■水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。
また、金たわし・みがき 粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

3 排水装置

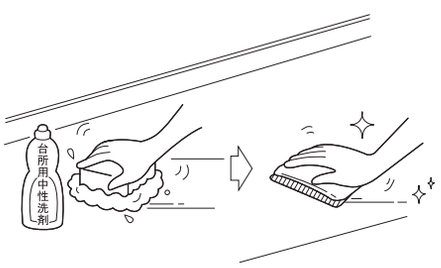
■週に一回程度、ミッセン、樹脂カゴおよび本体内部の汚れを、お湯または台所用中性洗剤で落としてください。お手入れの後は、樹脂カゴを確実に取付けてください。

4 天板・水そう

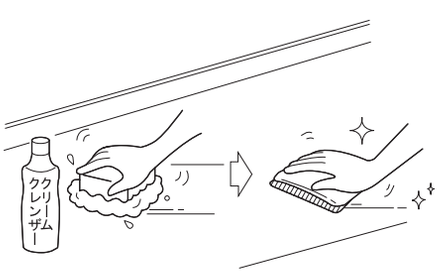
使用後はよく水洗いし、乾いた布で水気を拭きとってください。



塩分や油脂分の汚れは、ぞうきんかスポンジタワシに台所用中性洗剤を含ませてきれいに洗い落とし、乾いた布で水気を拭きとってください。



汚れが落ちにくい場合やサビが付着した場合は、スポンジまたはタワシに台所用クリームクレンザーをつけて汚れを落としてください。汚れが落ちたら洗剤が残らないようにきれいに水拭きし、さらに乾いた布で水気を拭きとってください。



お手入れ方法

5 水切り棚

中性洗剤を水で薄めた水溶液に浸しながら、柔らかいスポンジ等で手洗いしてください。

⚠ 注 意

クレンザーや固いタワシなどは傷をつけますので、使用しない。
シンナーやベンジン等の使用は変色、変質の原因になりますので使用しないでください。

6 木部・パネル

- ちょっとした汚れは柔かい布で軽く拭いてください。
- 汚れのひどい時は、中性洗剤をスポンジか柔かい布に含ませて軽く拭いていただいた後、軽く水拭きをしてください。水拭き後は、必ず乾いた布で水分を拭き取ってください。
- シンク収納部や上台収納部の棚板等の木部に直接水をかけたりして清掃をしないでください。
  汚れがついた場合には、すみやかに拭きとっていただくことが、きれいに使用していただけるひけつです。
- 水がかかった時は、乾いた布等で拭き取ってください。放置すると木部・パネルがふくれるおそれがあります。

⚠ 注 意

クレンザーや固いタワシなどは傷をつけますので、使用しない。
シンナーやベンジン等の使用は変色、変質の原因になりますので使用しないでください。

仕様

商品名	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
製造企業名	株式会社ハウステック
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも Ｆ☆☆☆☆
表示ルール	「住宅部品表示ガイドライン」キッチン・バス工業会表示指針による。
製造番号	製品本体に貼付けの銘板によりご確認ください。
ホルムアルデヒド 発散材料区分詳細	Ｐ　Ｂ　Ｆ☆☆☆☆ ＭＤＦ　Ｆ☆☆☆☆ 合板　Ｆ☆☆☆☆ 接着剤　Ｆ☆☆☆☆
問合せ先	http://www.housetec.co.jp

故障・異常の見分け方

商品に異常が生じた時は、次の点をお調べになってから、お買い求めの販売店か、別紙「ハウステックサービス網一覧表」の窓口にご相談ください。
故障・破損・変形のままで使用しないでください。

現　　象	原　　因	処理方法	参照ページ
扉がガタついている	丁番を固定するネジがゆるんでいる	丁番固定ネジを締め直してください	P８
排水の流れが悪い	樹脂カゴにゴミがつまっている	樹脂カゴを掃除してください	P７
	ゴミ収納器の本体底部にゴミがつまっている	樹脂カゴをはずして掃除してください	P７
熱湯をかけるとシンクが「ボコッ」と音がする	※これは異常ではありません。 ●熱湯によるステンレスの伸縮によるものです。 ●熱い油や多量の熱湯を流すと排水器具などが変型し水漏れの原因になることがあります。		―

※ コンロ・水栓金具等の機器に不具合が生じた場合は、それぞれの取扱説明書に従って、動作を確認してください。
もしそれでも異常がある場合は、お求めの販売店にご相談ください。

保証・点検・修理のご案内

保証と保証期間について

●このミニキッチンには、無料修理保証書がついています。
●無料修理保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
●保証期間中でも有料になることがありますので．ご了承ください。
（保証書に詳細を記載しておりますので、そちらをご覧ください）
●保証期間経過後の修理につきましては、販売店または営業所にご相談ください。

修理を依頼されるときは

●ミニキッチンが正常に作動しないときは、12 ページの「故障・異常の見分け方」をご覧ください。
それでも正常に作動しないときは、すぐに使用を中止し、13 ページのお問い合わせ窓口または、お買い求めの販売店にご相談ください。
●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。
① ご住所、お名前、電話番号
② 型式名：１ページ「部位と名称」の銘板に記載されています。
③ 現象：できるだけ詳しくご説明ください。
④ 訪問ご希望日、道順（付近の目印も）

部品の最低保有期限

●当社は、このミニキッチンの補修用性能部品を、製造打切後、最低７年間保有しています。
但し、組み込み機器などの補修用性能部品最低保有期限は、それぞれの保証書に記載されている期間となります。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
●代替品対応部品：扉・引出し等の面材に関しては、長期間の保存が技術的・品質的に困難なため、同等代替品での対応となる場合があります。

廃棄処分について

●廃棄処分の際は必ず専門業者に依頼してください。

お問い合わせ窓口

お問い合わせの内容により、下記の窓口にご連絡ください。

商品のお問い合わせは（お客様相談窓口）	修理のご用命は	補修部品のご購入は（代引き販売窓口）
0120-80-1761 ●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。	**0120-10-2471** ●受付時間 365日 24時間	**0120-45-5621** ●受付時間 平日の9:00～17:30（但し12:10～13:00の間は除く） 土・日・祝祭日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

本取扱説明書の記載内容や製品の仕様は、改良のため変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

保証書

無料修理保証書

品　名	ミニキッチンユニット　ＫＭ－７型		※ 型式
保証期間	本体：　**1**　年　間	※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	お名前：　様	ＴＥＬ：（　）	
	ご住所：		
※販売店	住所・店名： ＴＥＬ：（　）		

見本

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。　本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in japan

本書は、保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合に、本書記載内容にもとづき、無料修理をおこなうことを、お約束するものです。尚、本体組込機器に関する保証期間、保証条件などは、各々の保証に関する書面に従います。上記の保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店または別紙（同梱）のハウステックサービス網一覧の窓口にご依頼のうえ、本書をご提示ください。保証期間のお買上日は、改修の場合は、改修部分の設置完了の日、分譲及び賃貸マンションの場合は、建築主様に引き渡しされた日とします。

1.　保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
(ロ) お買い上げ後の設置場所の移動、分解等による故障及び損傷。
(ハ) 取付・設置の不注意、過失による故障及び損傷。
(ニ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害や異常水圧及び燃料、給水の供給事情による故障および損傷ならびに自然消耗。
(ホ) 商品、部品の経年変化または使用に伴う磨耗など。（たとえば扉塗装の色あせ、木製品のそり、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色など）
(ヘ) 一般家庭以外（たとえば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
(ト) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。
(チ) 本書のご提示がない場合。
(リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2.　離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3.　本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または別紙（同梱）のハウステックサービス網一覧表の窓口にお問い合わせください。

メ　モ

株式会社 ハウステック
〒173-0004　東京都板橋区板橋3-9-7（板橋センタービル）
☎(03)5248-5500

L34T0323KG